

中部で活躍する海外企業

熱処理加工の世界トップ企業が中部に進出 高度な熱処理加工技術で中部の産業界に貢献

ボディコート・ジャパン株式会社

INDEX
ボディコート・ジャパン株式会社

設立 2008年3月4日
資本金 1000万円
スタッフ 3名(2009年2月1日現在)
本社 チェシャー州マクスフィールド市(英国)

【事業内容】
・熱処理および金属接合
・熱間静水圧プレス(HIP処理)
・特殊金属塗装

TEL:052-912-5518
FAX:052-569-1590
http://www.bodycote.co.jp



ボディコート・ジャパン株式会社
代表取締役 ジュリアン・ペイショ氏

名古屋進出の経緯

英ボディコート社は、熱処理加工に特化した専門会社として世界28カ国に拠点をもち、総従業員数は約1万人。欧米で日系企業と年間50億円以上の取引がある。取引のある米航空機メーカーが、日本で部品を調達していたことから、日本進出を検討。そして、主要顧客の航空機をはじめ自動車、工作機械の各メーカーの集積地である名古屋に拠点を置いた。

世界トップクラスの技術を持つ熱処理技術を武器に、市場の獲得をめざしている。名古屋進出にあたっては、ジェトロ、中部経済産業局、愛知県、名古屋市の協力を得ている。

現在の活動・PR・今後の取り組み

- 現在の主な活動内容**
- 1 営業活動** 日本における熱処理加工ニーズ調査とともに、海外拠点ですでに取引のある航空機メーカーをはじめ、自動車部品メーカー、建設機械メーカー、工作機械メーカーなどに対し、熱処理技術のPR活動を展開中。現在は、北米のボディコート社の工場に顧客の部品をサンプル生産するなど、2010年からの日本工場での本格受注をめざし積極的な営業活動を展開中。
 - 2 加工メーカーの現状調査** 熱処理メーカーは国内に約400社、その中の100社と面談。現状の活動状況や技術力、後継者不足の課題の有無、設備計画などをヒアリング。同社のような熱処理に特化した取り組みは少ないことが調査で判明。特化した企業の強みを活かす戦略を検討中。
 - 3 工場立ち上げ** 顧客の近くで熱処理を行う。この方針のもと、日本国内の各地域で熱処理加工工場の立ち上げを予定。新設だけでなく既存の熱処理メーカーの買収(M&A)も検討。買収候補企業との相互のニーズが合致すれば、M&Aを推進しボディコート社の傘下として活動を支援。

ボディコート・ジャパンからのPR

<p>熱処理に特化した高い技術力を保有 熱処理技術30年以上の経験を有し、高品質が要求される航空機業界向け熱処理の認定制度「Nadcap」(国際特殊工程認証プログラム)を全世界34ヶ所(欧州18ヶ所・北米16ヶ所)の工場にて取得。航空宇宙業界で認められた高い加工技術を多様な製品分野に発揮している。</p>	<p>グローバル企業に対応が可能 世界28カ国に190ヶ所以上の熱処理工場を有している。世界各地にあるため、グローバル展開中の日本の顧客メーカーにも現地の工場が対応することが可能。</p>	<p>高い技術を持つ工場とのアライアンス 熱処理加工業界の大きな課題は後継者不足。高い技術力を有しながらも、後継者が不在のために、事業形態を考え直さなければならない加工メーカーとの戦略的アライアンスを提案している。</p>
--	---	--

今後の取り組み

10年後には日本市場シェア10%、1000社の顧客獲得をめざす。

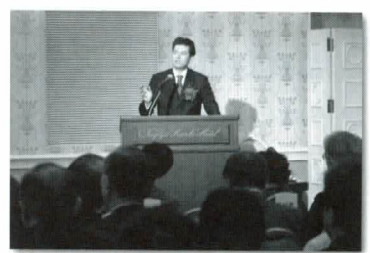
ボディコート社では、10年という長期的な展望で経営戦略を立案。2018年の目標として、日本国内で10ヶ所の工場の立ち上げ、売上50億円、日本市場シェア10%、1000社の顧客獲得をめざしている。その第一弾として、2010年4月までに一番目の工場を予定している。

中部の印象

「ものづくりの集積地」として魅力あるエリア

- ・中部は、東京にも大阪にもアクセスしやすく、物流面でも利便性が高く、ビジネスには最適な立地。
- ・ものづくりが盛んで、ほとんどの資材・材料は中部で調達が可能。
- ・名古屋の人材市場は、社員の定着率が高いという印象。

それだけに、いい人材を求める同社の採用活動は苦勞している。



外資系企業と地元企業との「平成20年度外資系企業ネットワーク懇談会」で講演